

## 平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

京都市立大宅中学校

4月21日に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、まとまりましたので報告いたします。この調査は、学習指導要領に示された内容について、どれだけ生徒たちの理解が得られているかを国語A・B、数学A・B、理科という調査問題を通して見るものです。A問題は、主として「知識」に関する問題を中心とした出題であり、B問題は、主として「活用」、つまり、実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題となっています。また、この調査には、生徒への質問として、学習意欲や学習方法、学習環境等に関する質問紙調査も含まれています。

### 全体の結果概要

国語A・Bは、全国平均とおよそ同じという結果になりました。数学A・B、理科は全国平均を少し下回っていました。数学は、A問題よりB問題が全国平均を下回る幅が大きかったです。最近では、覚えるだけでなく、習得した知識を活用できる学力がクローズアップされています。また、考える力や他人に伝える力が必要とされています。個別の調査結果は、8月末に返却しています。もう一度結果を見ながら各自の弱点克服に努めていくことが大切です。

### 国語科より

#### ① できたところ（単元など）

- 棒グラフの特定の部分の変化の内容を書き表す。
- 小学校学習漢字の書き「秒速」・中学校1年生学習漢字の読み「載る」
- （縁）の下の力持ち の（ ）に言葉を入れる。
- 「青い」と「青さ」の品詞を選択する問題。
- 漢字（小学校学習漢字を含む）・文法については一定の成果が上がっている。
- 他教科との関わりもあると思うが、グラフの読み取りもできていた。

#### ② できなかったところ（課題となる点）

- 「成否」という言葉を聞いて分かりやすい表現に直す。
- 用いられている表現の工夫を選択する。
- 手紙の後付けの直し方とその理由を選択する。○古典の作品名を漢字で書く。
- 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く。（B問題）
- 普段の生活の中で、身に付けていくべきことができていない。
- 記述問題（特に自分の考えを書く問題）が苦手で、無解答率も高かった。

#### ③ 課題克服に向けて取り組んでほしいこと

- 自分の考えを書く、条件に合致させて文章を書く等、書くことに対する抵抗感をなくすためにも特に根拠を明確にして文章を書くことを習慣づけてください。
- 授業中に行う話し合い活動などの言語活動に積極的に取り組み、自分の考えを速やかにまとめ、互いの考えを伝え合う学習活動の機会を大切にしてください。
- 新聞等から題材をとり、情報を的確に捉え、自分の考えを構築する活動をしていいつてください。

## 数学科より

### ① できたところ（単元など）

- 一次関数の表と式。表から式に直すことができる。
- 一次関数の表と式。式からグラフに表すことができる。

### ② できなかったところ（課題となる点）

#### 〈A問題〉

- 比例。比例のグラフ上の点を、座標を用いて表すことができていない。
- 反比例。反比例の特徴を理解していない。
- 変域。X の変域に対する y の変域を求めることができない。
- 証明。証明の根拠を理解していない。
- 空間図形。与えられた式を用いて、体積を求めることができる立体を理解していない。
- 平行移動。平行移動をした図が書けない。
- 資料の活用。中央値を求めることができない。
- 確率。場合の数を求めることができない。

#### 〈B問題〉

- 関数。式の意味を解釈し、その結果を表現することができない。
- 図形。事象を図形に着目した結果をもとに、問題解決の方法を図形の性質を用いて数学的に説明することができない。
- 証明：証明を振り返り、新たな性質を読み取ることができない。  
条件を変えて証明ができない。
- 資料の活用：与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができない。

### ③ 課題克服に向けて取り組んでほしいこと

- 一つの問題を一つの方法で解くのではなく、他の方法で解くことができないか他人の意見を聞いて考える習慣をつけてください。
- 予習、復習など家庭学習の習慣をつけてください。

## 理科より

### ① できたところ（単元など）

- 一定の時間に降る雨の量を確かめる実験を計画する問題。
- 背骨のある動物の問題。
- 磁界の変化を説明することができる。

### ② できなかったところ（課題となる点）

- 質量パーセント濃度において水と溶質の質量を求める問題
- 天気の記号から風力を読み取る問題
- 凸レンズによってできる像を調べる実験の結果から規則性を指摘することができる問題
- 問題の問い合わせを読み取る力が足りない。

### ③ 課題克服に向けて取り組んでほしいこと

・生徒質問紙によると理科が好きな生徒が多く興味・関心が高いです。また、理科が将来、役に立つと考えている生徒も多く、中には理科や科学技術に関する職業に就きたいと考えている生徒も多かったです。

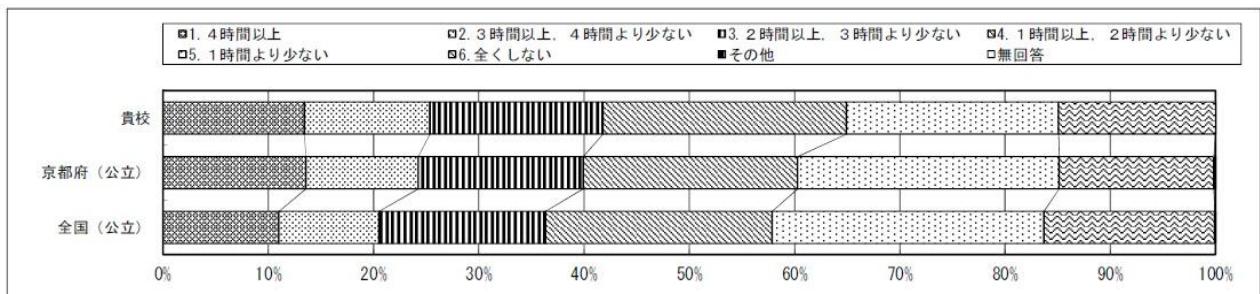
のことからも、生徒は理科の授業に前向きに取り組めていると考えられます。

しかし、書く問題において最後まで努力をしている生徒が少なかったです。

これは、問題を読み取る力が足りないということと、考えるための土台となる基礎的な知識が不足しているからだと思われます。この点を克服するために、長い文章を読み取ることに取り組んでください。

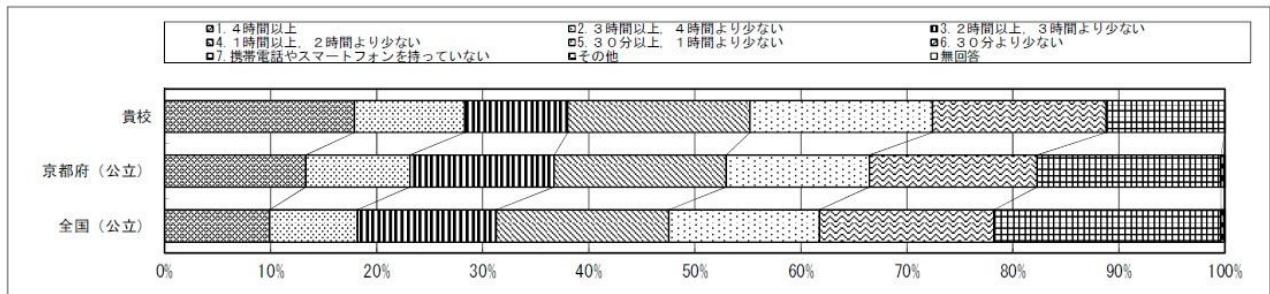
#### 生徒質問紙より

普段（月曜日～金曜日）、1日当たりテレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



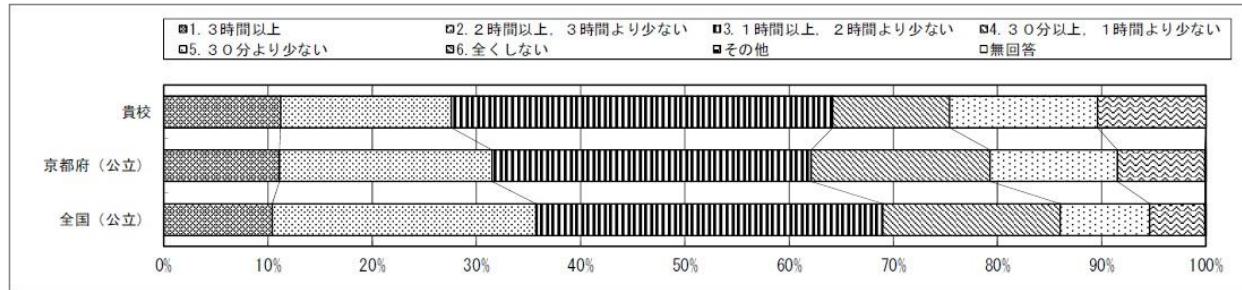
平日にゲームに費やす時間が「4時間以上」「3時間以上」という生徒が、全国平均を上回っています。時間を有効に使うためにも毎日の生活習慣を見直すことが必要です。ぜひ取り組んでください。

普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。



平日に「4時間以上」「3時間以上」携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする生徒が全国平均を上回っています。携帯電話やスマートフォンを使う時の約束を家庭で決めてください。携帯電話やスマートフォンをめぐるトラブルが増えています。約束を決めて使うことがトラブルを未然に防ぐことにつながります。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



平日に「2時間以上」、家庭学習に取り組む生徒が、全国平均を下回っています。学校の授業だけでなく家庭学習を充実させていくことが学習内容の定着につながっていきます。計画的な家庭学習を行っていってください。家庭学習を習慣にしていくことが大切です。